

魚沼の SHIOSHIN 塩 信

DISCLOSURE [2012・上半期]

《経営内容開示》

～平成24年9月末現在～



平成24年10月6日(土)「新潟しんくみの集い」(於 燕三条地場産センター)

発行 平成24年11月

《あなたの身近なパートナー》



塩 信 信用組合

理事長あいさつ

塩沢信用組合

理事長 小野澤 一成



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当組合では、経営の透明性から経営内容の情報開示を積極的に実施しております。

当組合をご利用のお客様へ、少しでも分かりやすくお伝えするために工夫しておりますが、ディスクロージャー（情報開示）した内容で、分かりにくい場合は、窓口もしくは営業職員へ、何なりとお尋ねください。

また、たずねた時の対応が不適切な場合は、理事長宛にご一報ください。

当組合は、親切でいねいな対応で、どなたへも分かりやすく説明することを営業の基本としております。

平成24年度「半期」事業報告（自：平成24年4月1日～至：平成24年9月30日まで）

【事業概況等】

地域経済は、全般的に買い控えムードの中、消費が低迷しており、当組合の組合員である商工業者にも、少なからずその影響は出ております。

県内の米の作況は順調でしたが、当地域も災害復旧に依存した景況感があり、先々が懸念されます。大震災による、復旧・復興が、まだまだこれからであり、その状況次第で県内産業の動向も変化する可能性があります。

当組合は、昨年『金融担当大臣表彰』を受賞、全国的に注目される金融機関となり、9月25日の「日本経済新聞」へは、挑戦する企業として大きく紙面で取り上げていただきました。

今期の取組として掲げた、商工会との連携事業ですが、業域内12商工会を4月中にすべて訪問し、既存会員の特典と新規会員の勧誘について、5月に開催された商工会の総会・総代会を通じて、商工会会員4,300名へご案内いたしました。

金融円滑化法の最終対応は、5月に業域内の5金融機関16支店を訪問し、16人の支店長へ金融円滑化法の最終対応に関して更なる協力体制を確認させて頂きました。7月以降他行と連携して対応した事案もいくつか発生しております。

当組合の職員とその家族の幸せの実現「職員の生涯職場としての取組」ですが、24年4月に人事制度を一新しました。

内容は、平成12年から実施していた役職定年制を廃止し、全員が65歳まで正規職員として働ける職場としました。

若者の定期採用と職員の長期雇用の確保の両立が可能な当組合の仕組みは全国の信用組合の間でも、注目されるところとなっております。

年金友の会25周年事業ですが、後半10月、11月の2旅行企画を残し、前半の式典、旅行等は、盛会裏に開催されました。ありがとうございました。

以上

24年度「半期決算」の報告

「貸借対照表」

【資産の部】

(金額単位：百万円)

科 目	(A) 前期実績 23年9月	(B) 今期予算 24年9月	(C) 今期実績 24年9月	予算対比 [(C)-(B)]	実績対比 [(C)-(A)]
(資産の部)					
現 金	348	400	347	▲ 53	▲ 1
預 け 金	13,147	13,364	13,573	209	426
有 価 証 券	3,152	3,119	3,195	76	43
国 債	1,456	1,498	1,592	94	136
社 債	795	800	797	▲ 3	2
株 式	15	15	15	0	0
そ の 他 の 証 券	884	805	790	▲ 15	▲ 94
貸 出 金	16,164	15,962	15,350	▲ 612	▲ 814
割 引 手 形	111	90	129	39	18
手 形 貸 付	1,497	1,505	1,398	▲ 107	▲ 99
証 書 貸 付	13,400	13,204	12,699	▲ 505	▲ 701
当 座 貸 越	1,155	1,163	1,123	▲ 40	▲ 32
そ の 他 資 産	243	226	226	0	▲ 17
全 信 組 連 出 資 金	87	87	87	0	0
有 形 固 定 資 産	429	420	416	▲ 4	▲ 13
建 物	186	174	174	0	▲ 12
土 地	226	226	226	0	0
無 形 固 定 資 産	2	2	2	0	0
繰 延 税 金 資 産	6	7	0	▲ 7	▲ 6
債 務 保 証 見 返	79	75	70	▲ 5	▲ 9
貸 倒 引 当 金	▲ 951	▲ 849	▲ 863	▲ 14	88
資産の部合計	32,623	32,726	32,319	▲ 407	▲ 304

【負債の部ならびに純資産の部】

(金額単位：百万円)

科 目	(A) 前期実績 23年9月	(B) 今期予算 24年9月	(C) 今期実績 24年9月	予算対比 [(C)-(B)]	実績対比 [(C)-(A)]
(負債の部)					
預 金 積 金	30,834	30,906	30,433	▲ 473	▲ 401
流 動 性 預 金	9,705	10,062	10,128	66	423
定 期 預 金	19,184	19,030	18,563	▲ 467	▲ 621
定 期 積 金	1,944	1,814	1,742	▲ 72	▲ 202
そ の 他 負 債	85	84	82	▲ 2	▲ 3
職 員 預 り 金	12	17	15	▲ 2	3
各 種 引 当 金 等	69	73	73	0	4
繰 延 税 金 負 債	0	0	13	13	13
債 務 保 証	79	75	70	▲ 5	▲ 9
負債の部合計	31,070	31,138	30,674	▲ 464	▲ 396
(純資産の部)					
出 資 金	398	400	403	3	5
利 益 剰 余 金	1,122	1,188	1,186	▲ 2	64
利 益 準 備 金	401	401	401	0	0
そ の 他 利 益 剰 余 金	720	787	785	▲ 2	65
当 期 未 処 分 剰 余 金	104	106	104	▲ 2	0
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	33	0	55	55	22
純資産の部合計	1,553	1,588	1,645	57	92
負債及び純資産の部合計	32,623	32,726	32,319	▲ 407	▲ 304

24年度「半期決算」の報告

「損益計算書」

【収益および費用の部】

(金額単位：百万円)

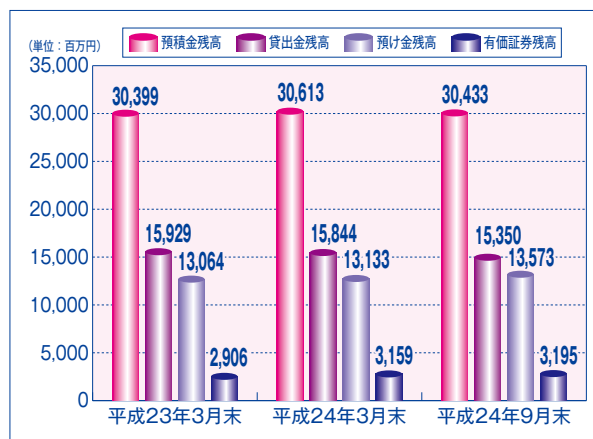
科 目	(A) 前期実績 23年9月	(B) 今期予算 24年9月	(C) 今期実績 24年9月	予算対比 [(C)-(B)]	実績対比 [(C)-(A)]
経 常 収 益	311	302	302	0	▲ 9
資金運用収益	289	287	282	▲ 5	▲ 7
貸出金利息	226	230	225	▲ 5	▲ 1
預け金利息	41	33	35	2	▲ 6
有価証券利息配当金	16	18	17	▲ 1	1
その他の受入利息	4	4	4	0	0
役務取引等収益	15	15	15	0	0
その他業務収益	5	0	4	4	▲ 1
国債等債券売却益	0	0	0	0	0
国債等債券償還益	0	0	0	0	0
その他の業務収益	5	0	4	4	▲ 1
その他経常収益	1	0	0	0	▲ 1
株式等売却益	0	0	0	0	0
その他の経常収益	1	0	0	0	▲ 1
経 常 費 用	261	257	259	2	▲ 2
資金調達費用	14	12	10	▲ 2	▲ 4
預積金利息	14	12	10	▲ 2	▲ 4
借用金利息	0	0	0	0	0
その他の支払利息	0	0	0	0	0
役務取引等費用	18	19	16	▲ 3	▲ 2
その他業務費用	0	0	0	0	0
国債等債券売却損	0	0	0	0	0
国債等債券償却	0	0	0	0	0
その他の業務費用	0	0	0	0	0
経 費	225	223	215	▲ 8	▲ 10
人 件 費	139	138	128	▲ 10	▲ 11
物 件 費	81	79	83	4	2
税 金	4	5	3	▲ 2	▲ 1
その他経常費用	3	1	16	15	13
貸倒引当金繰入額	2	0	13	13	11
貸出金償却	0	0	0	0	0
株式等売却損	0	0	0	0	0
株式等償却	0	0	0	0	0
その他の経常費用	0	1	2	1	2
経 常 利 益	49	45	43	▲ 2	▲ 6
特 別 利 益	2	0	0	0	▲ 2
貸倒引当金戻入益	0	0	0	0	0
その他の特別利益	2	0	0	0	▲ 2
特 別 損 失	0	0	0	0	0
固定資産処分損	0	0	0	0	0
減 損 損 失	0	0	0	0	0
その他の特別損失	0	0	0	0	0
税引前当期純利益	51	45	43	▲ 2	▲ 8
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0
配当所得に係る源泉税還付金	0	0	0	0	0
法人税等調整額	0	0	0	0	0
当期純利益	51	45	43	▲ 2	▲ 8
前期繰越金	53	61	61	0	8
当期末処分剰余金	104	106	104	▲ 2	0

24年度「半期決算」の報告

主要勘定の推移

(単位:百万円)

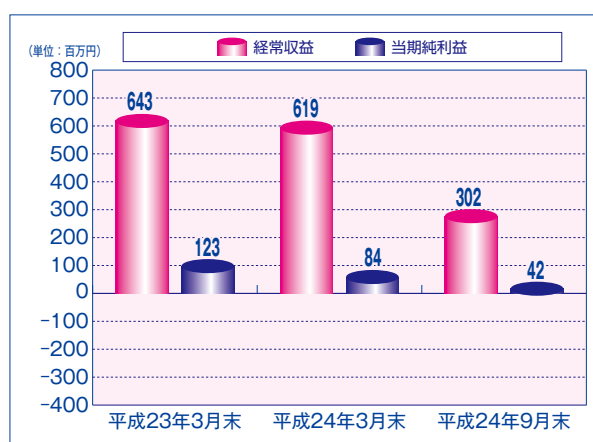
	平成23年3月末	平成24年3月末	平成24年9月末
預積金残高	30,399	30,613	30,433
貸出金残高	15,929	15,844	15,350
預け金残高	13,064	13,133	13,573
有価証券残高	2,906	3,159	3,195



収益等の推移

(単位:百万円)

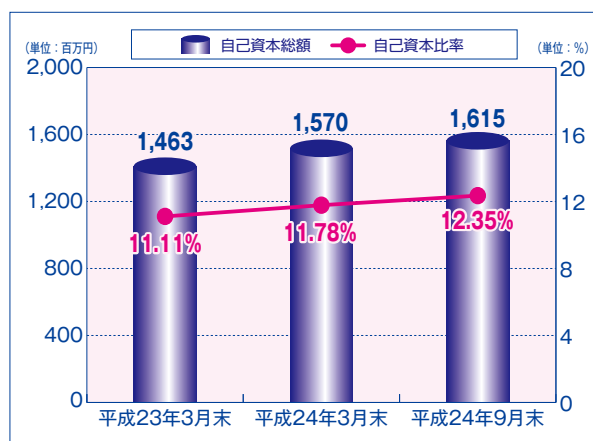
	平成23年3月末	平成24年3月末	平成24年9月末
経常収益	643	619	302
経常費用	519	533	259
経常利益	124	85	43
当期純利益	123	84	42



自己資本比率・自己資本額の推移

(単位:百万円)

	平成23年3月末	平成24年3月末	平成24年9月末
自己資本総額	1,463	1,570	1,615
自己資本比率	11.11%	11.78%	12.35%

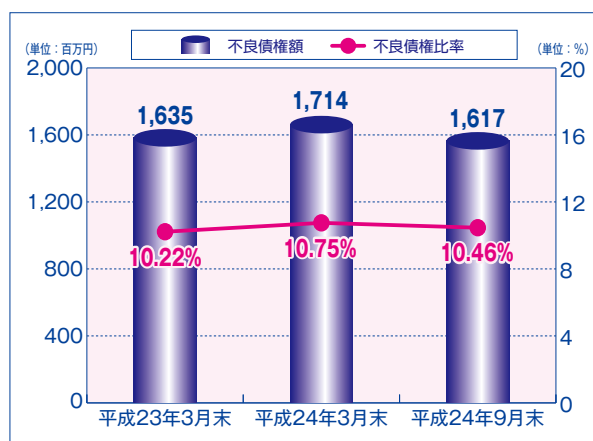


不良債権比率・不良債権額の推移

【金融再生法開示債権の推移】

(単位:百万円)

	平成23年3月末	平成24年3月末	平成24年9月末
不良債権額	1,635	1,714	1,617
不良債権比率	10.22%	10.75%	10.46%



金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額の状況

平成24年3月末

(単位:千円)

区分	年度別	債権額 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全額 (D)=(B)+(C)	保全率 (D)/(A)	貸倒引当金引当率 (C)/(A)-(B)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	23年3月	679,475	282,214	397,259	679,475	100.00%	100.00%
	24年3月	609,061	340,271	268,790	609,061	100.00%	100.00%
危険債権	23年3月	956,147	373,917	544,330	918,247	96.04%	93.49%
	24年3月	1,029,903	442,045	552,601	994,647	96.58%	94.00%
要管理債権	23年3月	—	—	—	—	—	—
	24年3月	75,266	30,196	6,322	36,518	48.52%	14.03%
不良債権計	23年3月	1,635,623	656,132	941,590	1,597,723	97.68%	96.13%
	24年3月	1,714,232	812,512	827,715	1,640,227	95.68%	91.79%
正常債権	23年3月	14,365,637					
	24年3月	14,232,050					
合計	23年3月	16,001,260					
	24年3月	15,946,282					

平成24年9月末

(単位:千円)

区分	年度別	債権額 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全額 (D)=(B)+(C)	保全率 (D)/(A)	貸倒引当金引当率 (C)/(A)-(B)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	23年9月	677,219	285,880	391,338	677,219	100.00%	100.00%
	24年9月	564,559	282,191	282,368	564,559	100.00%	100.00%
危険債権	23年9月	955,764	362,039	553,056	915,096	95.74%	93.15%
	24年9月	999,537	409,266	554,775	964,042	96.45%	93.99%
要管理債権	23年9月	—	—	—	—	—	—
	24年9月	52,978	23,522	4,585	28,107	53.05%	15.57%
不良債権計	23年9月	1,632,983	647,920	944,394	1,592,315	97.51%	95.87%
	24年9月	1,617,075	714,980	841,729	1,556,709	96.27%	93.31%
正常債権	23年9月	14,639,147					
	24年9月	13,830,427					
合計	23年9月	16,272,131					
	24年9月	15,447,503					

- (注) 1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
3. 「要管理債権」とは、「3か月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。
4. 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に問題がない債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権です。
5. 「担保・保証等(B)」は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
6. 「貸倒引当金(C)」は、「正常債権」に対する一般貸倒引当金を控除した貸倒引当金です。

〈平成24年9月末の算出方法〉

- 平成24年9月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急処置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権の範囲により分類し、以下の簡便な方法により算出しております。
- 債務者区分については原則として平成24年3月末時点における自己査定による債務者区分を基準としております。但し4月1日から9月末までに倒産、不渡り等の客観的な事実、並びに急激な業績悪化により債務者区分の変更を行った債務者については、当組合の定める基準に基づく見直し後の債務者区分によっております。
- 平成23年9月末の計数も上記の平成24年9月末と同じ方法で算出しております。

有価証券の時価等情報

1. 満期保有目的の債権

(単位:百万円)

項 目	23年9月			24年9月		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国 債	—	—	—	—	—
	地 方 債	—	—	—	—	—
	社 債	300	302	2	200	201
	そ の 他	—	—	—	—	—
	小 計	300	302	2	200	201
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国 債	—	—	—	—	—
	地 方 債	—	—	—	—	—
	社 債	200	198	▲ 1	300	298
	そ の 他	700	576	▲ 123	600	479
	小 計	900	774	▲ 125	900	778
合 計	1,200	1,077	▲ 122	1,100	979	▲ 120

- (注) 1. 時価は、平成24年9月末における市場価格等に基づいております。
 2. 「社債」には政府保証書、公社公団債、金融債、事業債が含まれます。
 3. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等であります。

2. その他有価証券

(単位:百万円)

項 目	23年9月			24年9月		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	株 式	—	—	—	—	—
	債 券	1,598	1,659	61	1,698	94
	国 債	1,398	1,456	58	1,498	93
	地 方 債	—	—	—	—	—
	社 債	200	202	2	200	1
	その他	—	—	—	—	—
	小 計	1,598	1,659	61	1,698	94
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	株 式	—	—	—	—	—
	債 券	100	93	▲ 6	100	▲ 3
	国 債	—	—	—	—	—
	地 方 債	—	—	—	—	—
	社 債	100	93	▲ 6	100	▲ 3
	その他	205	184	▲ 21	205	▲ 15
	小 計	305	277	▲ 27	305	▲ 18
合 計	1,904	1,937	33	2,004	75	

- (注) 1. 貸借対照表計上額は、平成24年9月末における市場価格等に基づいております。
 2. 「社債」には政府保証書、公社公団債、金融債、事業債が含まれます。
 3. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等であります。

3. 時価評価されていない有価証券の主な内容及び貸借対照表計上額

(単位:百万円)

項 目	23年9月 貸借対照表計上額	24年9月 貸借対照表計上額
そ の 他 有 価 証 券	15	15
非 上 場 株 式	15	15
非 上 場 外 国 証 券	—	—

地域貢献に関する情報開示

● 地域に貢献するしおしんの経営姿勢

当組合は、新潟県南部の魚沼エリアを営業区域とし、地元の中小零細事業者や住民が組合員となって、お互い助け合い、発展していくという相互扶助の精神に基づき運営されている協同組合組織金融機関です。

中小零細事業者や住民一人一人の顔が見えるきめの細かな取引を基本としており、常に組合員の事業の発展や生活の質の向上に貢献する為、組合員の利益を第一に考えることを基本としております。

また、地域社会の一員として、当組合の経営資源を活用し、地域社会の生活の質や文化の向上に積極的に取り組んでおります。

これからも、組合員の豊かな暮らしづくりに奉仕するために、円滑な資金供給と金融サービスを提供していくことはもちろんのこと、文化的・社会的貢献活動を通じ、組合員の暮らしにうるおいを与え、地元振興に積極的に資する、地元の金融機関として在り続けます。

※「経営革新等支援機関」の認定を11月5日に受けました。中小企業を巡る経済環境が大きく変化する中、課題は一層多様化・複雑化しており、これらの経営課題に対応するために本認定を受け、中小企業の財務内容等の経営状況の分析や事業計画の策定支援・実行支援を行うための支援体制の整備を図りました。

● 融資を通じた地域貢献

地元中小企業及び個人のお客様をはじめとする地域への円滑な資金供給を重要な使命と捉え、新商品の提供などを通じて、地域のお客様の資金のニーズにお応えします。

貸出金業種別残高・構成比

(単位:百万円)

業 種 別	平成23年9月		平成24年9月	
	金 額	構成比	金 額	構成比
製 造 業	492	3.0%	463	3.0%
建 設 業	1,342	8.3%	1,248	8.1%
卸 売 ・ 小 売 業	1,239	7.7%	1,278	8.3%
各 種 サ ー ビ ス 業	2,852	17.6%	2,703	17.6%
そ の 他 の サ ー ビ ス	1,634	10.1%	1,430	9.3%
小 計	7,562	46.8%	7,125	46.4%
地 方 公 共 団 体	1,400	8.7%	1,256	8.2%
個人(住宅・消費・納税資金等)	7,202	44.6%	6,969	45.4%
合 計	16,164	100.0%	15,350	100.0%

※金額は単位未満切り捨て、構成比は単位未満四捨五入で表示しております。

● 中小企業等金融円滑化に関する取組み

当組合は、公共的使命を全うするため、地域社会・地域経済の発展に貢献することを経営理念に掲げ、創意と工夫を活かして、組合員や地域社会の期待・信頼に応え、適切な情報開示を行うとともに、組合員の皆様との対話により金融の円滑化に取り組んでおります。

中小企業者及び個人のお客様から、貸付けの条件の変更等に関する申込みがあった場合は、当組合の業務の健全かつ適切な運営の確保に留意しつつ、申込みに至った背景や事情、事業や収入に関する将来の見通し、財産その他の状況を総合的に勘案し、貸付けの条件を変更させていただくなど、積極的かつ柔軟に対応しております。

25年3月末に中小企業金融円滑化法の期限到来を迎えますが、取引先に対する融資の取組や方針がなんら変わるものではありません。

金融円滑化に向けた取り組み状況

債務者が中小企業者である場合

(単位:百万円)

		23年3月	23年9月	24年3月	24年9月
貸付の変更等の申込を受けた貸付債権	金額(百万円)	1,682	2,397	2,942	3,240
	件数(件)	137	190	225	253

債務者が住宅資金借入者である場合

(単位:百万円)

		23年3月	23年9月	24年3月	24年9月
貸付の変更等の申込を受けた貸付債権	金額(百万円)	427	520	583	608
	件数(件)	50	61	69	75

25年3月期「決算」の見込

「貸借対照表」

【資産の部】

(金額単位：百万円)

科 目	(A) 前期実績 24年3月	(B) 今期予算 25年3月	(C) 今期予想 25年3月	予算対比 [(C)-(B)]	実績対比 [(C)-(A)]
(資産の部)					
現 金	416	400	400	0	▲ 16
預 け 金	13,133	12,575	12,721	146	▲ 412
有 価 証 券	3,159	3,619	3,619	0	460
貸 出 金	15,844	16,022	15,410	▲ 612	▲ 434
そ の 他 資 産	238	226	226	0	▲ 12
有 形 固 定 資 産	421	409	409	0	▲ 12
無 形 固 定 資 産	2	2	2	0	0
繰 延 税 金 資 産	7	6	7	1	0
債 務 保 証 見 返	75	75	75	0	0
貸 倒 引 当 金	▲ 849	▲ 849	▲ 861	▲ 12	▲ 12
資産の部合計	32,448	32,485	32,008	▲ 477	▲ 440

【負債の部ならびに純資産の部】

(金額単位：百万円)

科 目	(A) 前期実績 23年3月	(B) 今期予算 24年3月	(C) 今期予想 24年3月	予算対比 [(C)-(B)]	実績対比 [(C)-(A)]
(負債の部)					
預 金 積 金	30,613	30,591	30,118	▲ 473	▲ 495
そ の 他 負 債	93	96	96	0	3
各 種 引 当 金 等	71	73	73	0	2
繰 延 税 金 負 債	11	0	0	0	▲ 11
債 務 保 証	75	75	75	0	0
負債の部合計	30,864	30,835	30,362	▲ 473	▲ 502
(純資産の部)					
出 資 金	398	400	400	0	2
利 益 剰 余 金	1,156	1,250	1,246	▲ 4	90
利 益 準 備 金	401	401	401	0	0
そ の 他 利 益 剰 余 金	754	849	845	▲ 4	91
当 期 未 処 分 剰 余 金	138	161	164	3	26
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	29	0	0	0	▲ 29
純資産の部合計	1,583	1,650	1,646	▲ 4	63
負債及び純資産の部合計	32,448	32,485	32,008	▲ 477	▲ 440

25年3月期「決算」の見込

「損益計算書」

【収益および費用の部】

(金額単位：百万円)

科 目	(A) 前期実績 24年3月	(B) 今期予算 25年3月	(C) 今期予想 25年3月	予算対比 [(C)-(B)]	実績対比 [(C)-(A)]
経 常 収 益	619	606	605	▲ 1	▲ 14
資金運用収益	578	573	567	▲ 6	▲ 11
貸出金利息	456	467	451	▲ 16	▲ 5
預け金利息	82	63	76	13	▲ 6
有価証券利息配当金	34	39	35	▲ 4	1
その他の受入利息	4	4	4	0	0
役務取引等収益	32	32	32	0	0
その他業務収益	8	1	6	5	▲ 2
その他経常収益	0	0	0	0	0
経 常 費 用	533	506	502	▲ 4	▲ 31
資金調達費用	26	26	19	▲ 7	▲ 7
預積金利息	26	26	19	▲ 7	▲ 7
役務取引等費用	37	38	33	▲ 5	▲ 4
その他業務費用	0	0	0	0	0
経 費	447	439	433	▲ 6	▲ 14
人 件 費	283	278	268	▲ 10	▲ 15
物 件 費	158	156	160	4	2
税 金	5	5	4	▲ 1	▲ 1
その他経常費用	22	3	16	13	▲ 6
貸倒引当金繰入額	19	0	12	12	▲ 7
その他の経常費用	3	3	3	0	0
経 常 利 益	85	100	103	3	18
特 別 利 益	0	0	0	0	0
特 別 損 失	0	0	0	0	0
税引前当期純利益	85	100	103	3	18
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0
配当所得に係る源泉税還付金	0	0	0	0	0
法人税等調整額	0	0	0	0	0
当 期 純 利 益	84	100	103	3	19
前 期 繰 越 金	53	61	61	0	8
当期末処分剰余金	138	161	164	3	26

営業店の状況報告

平成24年9月

●本店の状況報告

	23年3月末	24年3月末	24年9月末
預積金・期末残高	10,441百万円	10,354百万円	10,246百万円
対前期増減	▲308百万円	▲87百万円	▲108百万円
貸出金・期末残高	6,347百万円	6,438百万円	6,202百万円
対前期増減	388百万円	91百万円	▲236百万円
融資取引先数	620先	651先	644先
対前期増減	48先	31先	▲7先
定期積金契約先数	1,600先	1,521先	1,459先
対前期増減	▲159先	▲79先	▲62先
年金友の会・会員	1,013人	995人	1,015人
対前期増減	▲41人	▲18人	20人
信栄会・会員数	114人	116人	116人
対前期増減	▲5人	2人	0人
組合員数	3,609先	3,614先	3,584先
対前期増減	8先	5先	▲30先

●石打支店の状況報告

	23年3月末	24年3月末	24年9月末
預積金・期末残高	6,776百万円	6,814百万円	6,468百万円
対前期増減	▲294百万円	38百万円	▲346百万円
貸出金・期末残高	3,357百万円	3,066百万円	3,009百万円
対前期増減	▲146百万円	▲291百万円	▲57百万円
融資取引先数	264先	284先	294先
対前期増減	▲15先	20先	10先
定期積金契約先数	868先	761先	712先
対前期増減	▲142先	▲107先	▲49先
年金友の会・会員	566人	584人	592人
対前期増減	▲20人	18人	8人
信栄会・会員数	125人	130人	127人
対前期増減	▲7人	5人	▲3人
組合員数	2,124先	2,101先	2,095先
対前期増減	▲44先	▲23先	▲6先

●五日町支店の状況報告

	23年3月末	24年3月末	24年9月末
預積金・期末残高	5,810百万円	5,917百万円	5,705百万円
対前期増減	▲253百万円	107百万円	▲212百万円
貸出金・期末残高	1,954百万円	1,972百万円	1,889百万円
対前期増減	▲10百万円	18百万円	▲83百万円
融資取引先数	387先	424先	445先
対前期増減	27先	37先	21先
定期積金契約先数	976先	936先	895先
対前期増減	▲69先	▲40先	▲41先
年金友の会・会員	492人	483人	482人
対前期増減	3人	▲9人	▲1人
信栄会・会員数	126人	130人	131人
対前期増減	4人	4人	1人
組合員数	1,869先	1,892先	1,889先
対前期増減	44先	23先	▲3先

営業店の状況報告

平成24年9月

●津南支店の状況報告

	23年3月末	24年3月末	24年9月末
預積金・期末残高	5,173百万円	5,361百万円	5,513百万円
対前期増減	56百万円	188百万円	152百万円
貸出金・期末残高	2,486百万円	2,457百万円	2,317百万円
対前期増減	29百万円	▲29百万円	▲140百万円
融資取引先数	375先	411先	416先
対前期増減	▲4先	36先	5先
定期積金契約先数	1,040先	1,028先	984先
対前期増減	▲88先	▲12先	▲44先
年金友の会・会員	428人	438人	453人
対前期増減	▲20人	10人	15人
信栄会・会員数	134人	150人	154人
対前期増減	6人	16人	4人
組合員数	1,989先	2,005先	2,013先
対前期増減	3先	16先	8先

●小出郷支店の状況報告

	23年3月末	24年3月末	24年9月末
預積金・期末残高	2,194百万円	2,156百万円	2,161百万円
対前期増減	▲8百万円	▲38百万円	5百万円
貸出金・期末残高	1,782百万円	1,908百万円	1,921百万円
対前期増減	▲45百万円	126百万円	13百万円
融資取引先数	276先	317先	345先
対前期増減	4先	41先	28先
定期積金契約先数	661先	616先	605先
対前期増減	▲49先	▲45先	▲11先
年金友の会・会員	163人	178人	184人
対前期増減	1人	15人	6人
信栄会・会員数	72人	80人	80人
対前期増減	12人	8人	0人
組合員数	1,529先	1,533先	1,545先
対前期増減	21先	4先	12先

●全店合計の状況報告

	23年3月末	24年3月末	24年9月末
預積金・期末残高(注1)	30,399百万円	30,613百万円	30,433百万円
対前期増減	▲817万円	214百万円	▲180百万円
貸出金・期末残高	15,929百万円	15,844百万円	15,350百万円
対前期増減	218百万円	▲85百万円	▲494百万円
融資取引先数(注2)	1,922先	2,087先	2,144先
対前期増減	60先	165先	57先
定期積金契約先数	5,145先	4,862先	4,655先
対前期増減	▲507先	▲283先	▲207先
年金友の会・会員	2,662人	2,678人	2,726人
対前期増減	▲77人	16人	48人
信栄会・会員数	571人	606人	608人
対前期増減	10人	35人	2人
組合員数	11,120先	11,145先	11,126先
対前期増減	32先	25先	▲19先

(注1) 預積金・期末残高は、本部を含む。

(注2) 融資取引先数は「割引手形」「手形貸付」「証書貸付」の先数(代理貸、当座貸越を除く)